

- 問1 奈良時代、天皇を中心とした中央集権体制を確立するため、全国は「国・郡・里」という行政単位に区分されました。このうち、都から派遣され、地方支配の責任者として行政を担った役職は何ですか。 (2022年 広島県公立入試 類似)
1. 地頭 2. 国司 3. 郡司 4. 守護
- 問2 奈良時代末期に成立した日本最古の和歌集で、大伴家持が編纂に関わったとされる作品を次から選びなさい。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
1. 万葉集 2. 古今和歌集 3. 新古今和歌集 4. 懷風藻
- 問3 奈良時代の都である平城京は、海から離れた内陸に位置していましたが、発掘調査で見つかった木簡などの記録から、各地の海産物などが大量に運び込まれていたことが分かっています。都にこのような各地の産物が集まった理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 大分県公立入試 類似)
1. 地方の役所で働く代わりに、10日間の労働を都で行う義務があったため 2. 地方の特産物を都へ納める「調」という税制が定められていたため 3. 防人として九州へ派遣される兵士が、食料として持参したため 4. 収穫した稲の3%程度を、地方の役所に貯蔵する仕組みがあったため
- 問4 飛鳥時代から奈良時代にかけて九州北部に置かれ、西日本の統括や、東アジア情勢に対応した外交・防衛の拠点となった古代の地方官庁を何と呼びますか。 (2025年 宮崎県公立入試 類似)
1. 国府 2. 六波羅探題 3. 大宰府 4. 鎮守府
- 問5 奈良時代末期に成立した日本最古の和歌集で、天皇や貴族から、九州の防備にあたった防人や農民といった庶民の歌まで幅広く約4500首が収録されているものは何ですか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
1. 新古今和歌集 2. 古今和歌集 3. 万葉集 4. 懷風藻
- 問6 正倉院に収蔵されている、美しい螺鈿（らでん）の装飾が施された「五絃の琵琶」などの宝物は、当時の日本が大陸と盛んに交流していたことを示している。これらの国際色豊かな宝物の多くは、どのような手段で日本にもたらされたか。 (2017年 山口県公立入試 類似)
1. 遣唐使による中国（唐）との交流 2. 平安時代の日宋貿易による輸入 3. 遣隋使による中国（隋）との交流 4. 鑑真が来日した際の献上品
- 問7 かつての税制を知る手がかりとして、伊豆国から都まで運ばれた荷物に付けられていた木製の荷札が見つかっています。この荷札には特産品である「鯉節」を納めた記録が残っていますが、このように地方の産物を都へ届ける税の仕組みについて正しく述べたものはどれですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
1. 都での労役の代わりに、決められた長さの布を都へ納める義務。 2. 年間60日を限度として、国司の命令で地方の土木工事などに従事する義務 3. 収穫した稲の約3%を、それぞれの国にある倉庫へ納める義務。 4. 主に成人男性に課せられ、各地の特産物を都まで運んで納める義務。
- 問8 奈良時代の都の跡などから出土する、細長い木の板に墨で文字が記された「木簡」は、当時の税制度においてどのような役割を果たしていましたか。その内容として最も適切なものを選びなさい。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. 役人が地方へ派遣される際に、その身分を証明するために携帯した札 2. 地方から都へ運ばれる租税である調や庸に付けられた荷札 3. 班田収授法によって農民に分け与えられた土地の所有証明書 4. 大陸との貿易を行う船に積み込まれた、公式な貿易許可証
- 問9 奈良時代、聖武天皇は相次ぐ反乱や疫病といった社会不安を鎮め、国家を安定させるために仏教の力を利用しようと考えました。このように、仏教の教えによって国を守るうとする思想を何と呼びますか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. 尊王攘夷の思想 2. 末法思想 3. 神仏習合の思想 4. 鎮護国家の思想
- 問10 8世紀の日本において、聖武天皇の時代を中心に栄えた文化は、中国（唐）の文化だけでなく、西アジアや中央アジアの影響も受けた国際色豊かな特色を持っています。このように多様な地域の文化が日本に伝わった背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
1. 平清盛が日宋貿易を推進したことで、宋から大量の銅銭や陶磁器が輸入され、貨幣経済が全国的に浸透したため 2. 菅原道真の建議により遣唐使が廃止されたことで、日本独自の自然観や感情を反映した貴族文化が急速に発達したため 3. 遣唐使が派遣されたことで、唐の優れた制度や文化とともに、シルクロードを経由した西方の産物や知識が日本にもたらされたため 4. 聖徳太子が冠位十二階や十七条の憲法を制定し、高句麗や百済といった朝鮮半島の国々との交流を最優先したため
- 問11 律令制度において、各地の特産物である絹や布、あるいは海産物の加工品などを都まで運び、直接納めることが義務付けられていた税を何と呼びますか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
1. 調 2. 庸 3. 雑徭 4. 租
- 問12 奈良時代、聖武天皇が国ごとに国分寺や国分尼寺を建立するなど、仏教の力で国家を治めようとしていた時期、政府は口分田の不足を補うために、新しく開墾した土地の永年私有を認める法令を出しました。この法令によって、公地公民の原則が崩れるきっかけとなったものはどれですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 大宝律令 2. 三世一身の法 3. 墾田永年私財法 4. 班田収授法
- 問13 奈良時代、相次ぐ反乱や疫病の流行などの社会不安を取り除くため、聖武天皇が「仏教の力で国を治め、守る」という考えに基づき、東大寺に大仏を建立しました。このような当時の政治思想を何といいますか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
1. 浄土信仰 2. 末法思想 3. 鎮護国家 4. 神仏習合
- 問14 律令国家が作成した戸籍の中には、ある郷の総人口435人のうち、男性が59人であるのに対し、女性が376人と記録されているものがあります。このように、実際の性別とは異なる虚偽の申告が行われた背景には、男性にのみ課せられた重い税負担がありました。収穫した稲の約3%を納める「租」とは別に、男性にのみ課せられた、地方の特産品を納める税と、都での労役の代わりに布を納める税の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 秋田県公立入試 類似)
1. 租と調 2. 租と庸 3. 租と公出拳 4. 調と庸

答え合わせ・解説

問1	答え 2 国司	大化の改新以降、律令制度の整備によって天皇を中心とした中央政府が全国を直接支配する仕組みが作られました。中央政府から各地方（国）に派遣された官吏を国司と呼び、その下の単位である「郡」では、地元の有力な豪族が郡司に任命されて実務を補佐しました。これにより、地方の情報を中央が把握し、統治する体制が整えられました。
問2	答え 1 万葉集	奈良時代を代表する文化遺産であり、約4,500首の歌が収められています。平安時代に編纂された初の勅撰和歌集である『古今和歌集』や、鎌倉時代の『新古今和歌集』と時代の区別をつけることが重要です。また、『懷風藻』は日本最古の「漢詩集」であり、和歌集である本作とは区別されます。
問3	答え 2 地方の特産物を都へ納める「調」という税制が定められていたため	古代の税制である「調」は、各地の特産品を中央政府に納める制度でした。これによって、内陸部にある都にも全国から布や魚介類、塩などが集まり、国家の財源や役人への報酬、儀式的の供え物として利用されました。選択肢にある「稲を納める（租）」や「労働の代わりに布を納める（庸）」、あるいは「防人」などの制度と区別して理解する必要があります。
問4	答え 3 大宰府	九州北部に置かれた大宰府は、西日本の統括に加えて、中国や朝鮮半島などの東アジアとの外交や防衛を担う重要な拠点でした。なお、東北地方の防衛や統治を担った官庁は鎮守府です。
問5	答え 3 万葉集	奈良時代の文化を代表する作品で、大伴家持が編纂に関わったとされています。漢字の音や訓を日本語の表記に用いた「万葉仮名」で書かれていることが特徴です。当時の特権階級だけでなく、名もなき庶民の切ない心情や、厳しい任務に赴く防人の歌などが収められており、当時の社会の様子や人々の感情を今に伝える貴重な史料となっています。
問6	答え 1 遣唐使による中国（唐）との交流	奈良時代には遣唐使が頻繁に派遣され、唐の都である長安を経由して、西アジアやインドなどの文化が日本に流入しました。正倉院に収められた宝物には、ベルシャ風のデザインや大陸由来の技法を用いたものが多く含まれており、当時の日本が「シルクロードの終着点」と呼ばれた背景を裏付けています。
問7	答え 4 主に成人男性に課せられ、各地の特産物を都まで運んで納める義務。	律令国家の財政を支えた「調」は、地方の特産物を都に集める役割を担っていました。伊豆国の鯉節のように、その土地ならではの加工品が選ばれることが多く、これらは都まで運搬する負担も含めて成人男性の義務とされていました。
問8	答え 2 地方から都へ運ばれる租税である調や庸に付けられた荷札	木簡は紙が貴重だった時代に、記録や伝達のために広く使用されました。特に、地方から都へ納められる特産物の「調」や、労役の代わりに布である「庸」などの荷物に、送り主や品目、産地などを記した荷札として付けられていたことが、平城京跡などから出土した大量の木簡から判明しています。これにより、当時の物流や租税制度の具体的な仕組みを知ることができます。
問9	答え 4 鎮護国家の思想	聖武天皇の時代は、天然痘の流行や藤原広嗣の乱など、社会的に不安定な状況が続いていました。これらを解決するために、仏教の教えを政治に取り入れ、国家の安泰を願う「鎮護国家」の思想が推進されました。その具体的な施策として、全国に国分寺・国分尼寺が建立されることとなりました。
問10	答え 3 遣唐使が派遣されたことで、唐の優れた制度や文化とともに、シルクロードを経由した西方の産物や知識が日本にもたらされたため	8世紀の唐は、西アジアや中央アジアとも活発に交流する国際的な大帝國でした。日本は遣唐使を派遣して唐の進んだ文化を直接取り入れましたが、その中にはシルクロードを通じて唐に伝わっていた西方の文化も含まれていました。その結果、この時代の文化は日本の歴史上でも類を見ないほど国際色豊かなものとなりました。選択肢にある「国風文化」は遣唐使廃止後の10世紀以降、「日宋貿易」は平安末期の平氏政権期、「聖徳太子の外交」は7世紀の飛鳥時代の出来事であり、時期や特色が異なります。
問11	答え 1 調	律令制度の下で成人男性に課せられた税のうち、地方の特産物を納める制度を「調」と呼びます。これに対し、収穫した稲を納めるものは「租」、都での労働（歳役）の代わりに布を納めるものは「庸」、地方での土木工事などの労働は「雑徭」として区別されていました。
問12	答え 3 墾田永年私財法	人口の増加にともない、班田収授法に基づく口分田が不足したため、政府は開墾を奨励しました。723年の三世一身の法に続き、743年に出されたこの法令は、一度開墾した土地を永久に自分のものにすることを認めたため、有力な貴族や寺院による土地の私有が進み、後の荘園の形成へとつながりました。
問13	答え 3 鎮護国家	聖武天皇は、天然痘の流行や政治的混乱が続く中、仏教の力によって国家の安泰を図ろうとしました。この思想を「鎮護国家」と呼び、これに基づいて全国に国分寺・国分尼寺が建立され、その総本山として都の平城京に東大寺が、そしてその本尊として大仏が造立されました。
問14	答え 4 調と庸	律令制下では、すべての人民に口分田が与えられ、その面積に応じて収穫した稲の約3%を納める「租」が課せられていました。これに加え、成人男性には地方の特産品を納める「調」や、都での年間10日の労役の代わりに布を納める「庸」などが課せられていました。これらの負担は非常に重く、さらに都まで運ぶ運脚の負担も男性が負っていたため、人々は戸籍上で性別を偽る「偽籍（ぎせき）」を行って負担を逃れようとしていました。